

LADIES BADMINTON

連盟だより

大阪府レディースバドミントン連盟

第60号

令和4年7月



新たな日常へ

理事長 竹田 由美子

3年ぶりに通常の事業予定の元、令和4年度が始まりました。定例総会、クラブ対抗大阪府予選会、前期団体リーグ戦、カトレア親睦団体戦と、感染対策に万全の注意を払いながらの開催となりましたが、皆様のご協力のお陰で無事に終了する事ができました。大会中はチームのメンバーと共に試合に参加できる喜びを感じることができました。無観客での開催で他チームの応援はできませんでしたが、一歩前進できたことを嬉しく思います。

役員の方々には通常業務以外に感染対策への配慮をお願いし負担をおかけしましたが、各部においてスムーズに対応していただきました。また、選手の皆さんにも手指消毒の徹底や体育館の使用について細かな対策をお願いしました。しばらくはこのような制限のある中での大会開催となりますが、ご協力のほど宜しくお願い致します。

そして、6月9日には、遅延しておりました故村井広美お別れの会を開催しました。

ゆかりのある皆様と共に連盟創設者であられた村井さんにお別れの挨拶をすることができました。コロナ蔓延の災禍の中で、滞った大会、遅れていたお別れの会、様々な障害のある日々でしたが、少しずつ日常を取り戻してきたことに安堵しています。

コロナによる生活の変化で会員減少も見られますが、明るい話題として母娘2代でレディース登録する方や、小さな子供さん連れの方、若い世代の会員も増えつつあります。コロナに負けずより幅広い女性のニーズに合わせた運営を進めて参ります。

また時代と共に進む新たなツールを活かせるように常にアンテナを張り巡らせておかねばなりません。次のステージにステップアップできるよう皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。

10月には当連盟主管大会である国際親善大会が3年ぶりに開催されます。海外や府外の選手をお迎えし安心して参加していただけるよう準備を進めているところです。更に続く大会に向けて役員一同力を合わせて頑張りますので、連盟員の皆さんには今後ともご協力いただきますよう宜しくお願い致します。



故 村井広美 お別れの会

令和3年5月12日に永眠しました村井広美名誉会長のお別れの会を令和4年6月9日に開催しました。公益財団法人日本バドミントン協会はじめ各団体様、各企業の皆様、ショップの皆様、連盟代表の皆様のご参列をいただき村井名誉会長を偲びました。



ご挨拶

大阪府レディースバドミントン連盟
会長 廣瀬 園子

村井広美 お別れの会へご参列いただきました皆様一言ご挨拶申し上げます。

昨年5月12日、私達は連盟の柱でありました名誉会長 村井広美を見送りました。コロナ蔓延の災禍の中で、私達は会うこともかなわず、伝えたい言葉を聞くこともなく、突然の別れを余儀なくされました。母はいつまでも元気であると信ずる子供のように、私達には何の覚悟もできておりませんでした。社会の状況から連盟として葬儀を営むことも許されず、ただ惜別と空虚を感じる日々の中で、少しづつ村井さんのありし日の姿と足跡を心に深く思い起こして参りました。

まず目に浮かぶのはその姿です。恐れを知らぬごとく堂々と真ん中を

歩かれる姿は、村井さんを知る限りの人の臉に消えることはないでしょう。言葉より行動の方が早く、私達は慌ててその後ろを走りました。即座に確信をつかむ直観力、複雑な問題を決する果敢な決断力、いざというときに人を助ける優しさもありました。しかし欠点がないと言えば嘘になります。今日ご参列くださった皆様はよくご存じです。そのわがままな性格から、私達はこっそり "自己中" というあだ名をつけていました。都合の悪いことはすぐに人のせいにするのも得意でした。気が付けばいつの間にか失敗したのは私達のせいとなっていました。それもこれも含めて、それでもチーム村井は一致団結していました。村井さんが残された業績の上に、私達はいつもその声を聞いています。もう会うことはかなわなくても、何かあれば必ず村井さんを思い浮かべています。私達は言葉に尽くせないあまりにも多くのものをいただきました。

1975年に大阪府家庭婦人バドミントン連盟が創設された当時、文字通り女性は家庭にあるべきという社会通念がまだまだまかり通っていました。その時代に、女性が自立し輝いてこそ家庭は平和であり、子供達は幸せであり、社会が輝くというのが持論でもありました。またピラミッド型の連盟の構築が村井さんの理念でした。底辺は広く厚く、頂点はどこまでも高く、それはとりもなおさずバドミントンスポーツの啓蒙であり、スポーツにおける競技力向上の重要性でした。

村井さんの行動力は大阪に止まらず、日本の女性バドミントンの統括へと向かいました。村井さんによって日本のレディースバドミントン活動は大きく飛躍したと言っても過言ではないでしょう。日本レディースバドミントン連盟を全都道府県参加型に組織化し、その大きな力を支えに、大阪から日本へ日本から世界へと進化していきました。

1995年、国際親善レディースバドミントン大会の創設は、国際人であられた先代名誉会長 嶋久雄先生のご遺志の元、世界の人々との連帯はスポーツを通じて実現することができるという確信と夢の体現でありました。自分の足で世界のレディースバドミントンの実情を確かめるために、何ヶ国をラケット持参で訪問したでしょうか。中国から始まり、ハワイ、デンマーク、オーストラリア、アメリカ、台湾、韓国、カナダ等々。その行く先々で逢ったバドミントン愛好者た



ちを大阪へ誘致しました。長い長い道のりでしたが、25回を超える大会の継続は、年ごとの発展と共に今日にいたっています。勿論その間には皆様より言葉に尽くせぬご協力をいただきました。大会のノウハウ、資金の援助や広告によるご協力、世界への働きかけ、選手招聘への協力、物品による支援等々。強引なお願いを出来る限り聞いてくださった皆様なくして、今日はありません。私達も、その一つ一つを肝に銘じて永遠に忘れるものではありません。

今後は、残された村井さんの遺志と遺産をいかに継承し発展させていくか、何を未来に繋いでいくことができるか、大きなテーマに挑戦致してまいります。大きな夢の詰まった荷物を私達は確かに受け継ぎました。その夢を若い世代の連盟につなぎながら、私たちはこれからも村井さんの心と共に進んでまいります。

最後になりましたが、本日は厳しい状況の中でご参列いただきました皆様、本当にありがとうございました。今後どうか私達を見守りご指導ください。そして後に続きます連盟をいつまでも応援してください。

ご参列の皆様にお礼を申し上げ、ご挨拶といたします。



連盟から皆様へ

理事長 竹田由美子

本日はお忙しい中、村井広美お別れの会にご参列いただきまして誠にありがとうございました。

昨年村井さんが突然他界された時は、お見送りする事さえ叶いませんでしたが、本日このような形で生前ご縁をいただいております皆様と共に、村井さんを偲び、献花をする事ができました事を心より感謝申し上げます。

村井さんは生涯をバドミントンに捧げた方でした。バドミントンをする事も大好きでしたが、チームを作り、そのチームを組織し、今日あるレディース連盟の基礎を作りあげました。また数々の大会を創設し、その

顕著な活動により世界においても実績を残されました。

その大きな功績から怖いイメージもありますが、若い世代の私達にはさりげなく温かい声掛けをしてくださり優しいリーダーでした。本日見ていただいた映像で思い出される村井さんとの時間は私達の心の中でずっと生き続けます。忘れることはありません。

村井さん亡き今、私達に課せられた課題はたくさんありますが、大阪府レディースバドミントン連盟としては村井さんが立ち上げ、皆様のお力添えで25周年の節目を迎えました国際親善大会を更に発展させることが責務と考えております。

大会を通じて生まれた海外との交流は大きな財産です。また、大会運営で学んだ貴重な経験をいかし、大阪で生まれたこの大会を守り育てていきたいと思っております。

この2年間は大会中止を余儀なくされましたが、最近の状況を見ますと制限も緩和に向かっており、今年度の大会は開催出来ることを信じて準備を進めているところでございます。

最後になりますが、私達は、先輩からのバトンをしっかりと受け取り、村井さんに恥じる事のない連盟運営を目指して参ります。

本日ご参列いただきましたご縁の深い皆様には、今後とも変わらぬご指導を賜りますようどうか宜しくお願い申し上げます。

本日は本当にありがとうございました。



日本バドミントン協会
専務理事 銭谷欽治氏



日本レディースバドミントン連盟
会長 天野博江氏

第40回全日本レディースバドミントン選手権大会結団式



3年ぶりに開催される全日本レディースバドミントン選手権大会の結団式が令和4年7月1日（金）東大阪市立総合体育館で開催されました。都道府県対抗の部に出場の大阪選抜チームとクラブ対抗の部に出場する3チームの皆様のご健闘をお祈りします。

審判部×国際親善部 合同セミナー

結団式終了後 午後から東大阪市立勤労市民センターにて開催されました。

フィリピン・マニラで開催されたアジアバドミントン選手権大会2022(R4.4.26～5.1)に国際線審として参加された米倉恵里さん（東大阪 M.B.C）の貴重な体験談他、審判部と国際親善部の意見交換など、有意義なセミナーでした。



令和4年度

近畿レディースバドミントン競技大会 開催



令和4年6月1日（水）
東大阪市立総合体育館



試合結果

第40回全日本レディースバドミントン選手権大会（クラブ対抗）大阪府予選会

期日：令和4年4月20日（水）22日（金）

会場：東大阪市立総合体育館

優勝 あいCLUB

準優勝 四条暁クラブ

三位 高嶺クラブ

*入賞3クラブは7月21日（木）～24日（日）、第40回全日本レディース選手権大会（北海道）に出場します。



発行 大阪府レディースバドミントン連盟
〒577-0804 大阪府東大阪市中小阪5-12-4 ローリエ八戸ノ里201
<http://osakalbad.jp/>
責任者 竹田 由美子 編集 広報部